



## 平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 19 年 2 月 15 日

上場会社名 京福電気鉄道株式会社

(コード番号 : 9049 大証第 2 部)

(URL <http://www.keifuku.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 山村 勝保

問合せ先責任者 管理本部部長 長尾 拓昭

TEL : (075) 841-9385

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有  
 ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
 (内容) 連結 (新規) 1 社 (除外) 1 社 持分法 (新規) 0 社 (除外) 0 社

### 2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)

#### (1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 3 四半期	8,968	(△2.0)	360	(26.8)	222	(41.0)	95	(13.7)
18 年 3 月期第 3 四半期	9,152	(△2.6)	284	(22.4)	157	(54.8)	84	(767.8)
(参考) 18 年 3 月期	11,899		46		△156		14	

	1 株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19 年 3 月期第 3 四半期	4.80	—
18 年 3 月期第 3 四半期	4.22	—
(参考) 18 年 3 月期	0.69	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

#### [経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期の売上高は 8,968 百万円 (前年同期比 2.0%減) となり、不動産業やその他の事業が減収となったものの、運輸業における燃料費の高騰があった反面、不動産原価や人件費の削減に努めたことにより、営業利益は 360 百万円 (前年同期比 26.8%増)、経常利益は 222 百万円 (前年同期比 41.0%増) となりました。これに特別利益、特別損失さらには法人税等を加味した結果、四半期純利益は 95 百万円 (前年同期比 13.7%増) となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

運輸業においては、鉄軌道事業の嵐山線では前年に引き続き「京都・嵐山花灯路」、嵐山周辺寺院のライトアップなどにより観光客の誘致に努めました。また、バス事業では京都地区の増収に加え、福井地区においても郊外路線の見直しによる収支改善を図り、売上高は 6,141 百万円 (前年同期比 0.8%増)、営業利益は 38 百万円 (前年同期比 62.7%増) となりました。

不動産業においては、分譲収入や三国競艇場収入の減収などにより、売上高は 1,377 百万円 (前年同期比 7.4%減)、営業利益は 305 百万円 (前年同期比 4.8%減) となりました。

レジャー・サービス業においてはホテル部門や飲食部門が好調で、売上高は 1,167 百万円 (前年同期比 3.1%増)、営業利益は 3 百万円と黒字に転換しました。

その他の事業においては、建設業の受注減などにより、売上高は 1,156 百万円 (前年同期比 9.8%減) となったものの、諸経費の節減に努めた結果、営業利益は 2 百万円と黒字に転換しました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	16,991	2,807	13.6	115.59
18年3月期第3四半期	18,322	2,331	12.7	116.68
(参考) 18年3月期	18,801	2,270	12.1	113.62

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は、資金効率を高め有利子負債の圧縮に努めるとともに、減価償却による固定資産の減少があり平成18年3月期末に比べ1,810百万円減少し、16,991百万円となりました。また、純資産においても利益剰余金の増加があり、2,807百万円となりました。

[参考]平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	12,200	120	60

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 3円00銭

[業績予想に関する定性的情報等]

現時点において、通期の連結業績予想は前回発表（平成18年11月15日）の予想を変更していません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後さまざまな要因により実際の業績が異なる可能性があります。

[参考]個別情報

(1) 経営成績（個別）の進捗状況

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19年3月期第3四半期	1,884 (△5.0)	206 (△9.5)	142 (△32.5)	83 (△66.2)
18年3月期第3四半期	1,983 (△4.5)	228 (17.9)	210 (217.5)	247 (424.7)
(参考) 18年3月期	2,583	212	148	363

(2) 財政状態（個別）の変動状況

	総資産	純資産
	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	13,603	2,024
18年3月期第3四半期	13,894	1,871
(参考) 18年3月期	15,160	1,990

[参考]平成19年3月期の個別業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	2,600	140	90

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 4円50銭

[業績予想に関する定性的情報等]

現時点において、通期の個別業績予想は前回発表（平成18年11月15日）の予想を変更していません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後さまざまな要因により実際の業績が異なる可能性があります。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

	当第3四半期末 (平成18年12月31日)	前連結会計年度 (平成18年3月31日)	比較増減額	前第3四半期末 (平成17年12月31日)
(資産の部)	百万円	百万円	百万円	百万円
I 流動資産				
現金及び預金	1,303	1,743	△440	1,568
受取手形及び売掛金	829	826	3	673
たな卸資産	361	360	0	1,041
その他	317	1,275	△957	655
流動資産合計	2,812	4,206	△1,394	3,939
II 固定資産				
有形固定資産	12,484	12,949	△464	13,030
無形固定資産	93	111	△18	120
投資その他の資産	1,582	1,489	93	1,178
固定資産合計	14,161	14,550	△389	14,329
III 繰延資産				
社債発行費	18	44	△26	53
資産合計	16,991	18,801	△1,810	18,322
(負債の部)				
I 流動負債				
支払手形及び買掛金	116	135	△18	126
短期借入金	4,637	4,720	△83	4,622
その他	1,693	1,864	△171	1,649
流動負債合計	6,447	6,721	△273	6,397
II 固定負債				
社債	2,711	2,972	△261	3,233
長期借入金	3,465	4,784	△1,318	5,241
退職給付引当金	374	369	5	374
その他	1,185	1,223	△37	258
固定負債合計	7,736	9,348	△1,611	9,107
負債合計	14,183	16,069	△1,885	15,505
(少数株主持分)				
少数株主持分	—	461	—	485
(資本の部)				
I 資本金	—	1,000	—	1,000
II 資本剰余金	—	270	—	270
III 利益剰余金	—	885	—	955
IV その他有価証券評価差額金	—	116	—	107
V 自己株式	—	△2	—	△2
資本合計	—	2,270	—	2,331
負債、少数株主持分 及び資本合計	—	18,801	—	18,322
(純資産の部)				
I 株主資本	2,248	—	—	—
資本金	1,000	—	—	—
資本剰余金	270	—	—	—
利益剰余金	980	—	—	—
自己株式	△3	—	—	—
II 評価・換算差額等	60	—	—	—
その他有価証券評価差額金	60	—	—	—
III 少数株主持分	498	—	—	—
純資産合計	2,807	—	—	—
負債純資産合計	16,991	—	—	—

## 2. (要約) 四半期連結損益計算書

	当第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	前第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	比較増減額	前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
	百万円	百万円	百万円	百万円
I 営業収益	8,968	9,152	△183	11,899
II 営業費	8,608	8,867	△259	11,853
営業利益	360	284	76	46
III 営業外収益	54	62	△7	91
IV 営業外費用	192	189	3	293
経常利益	222	157	64	△156
V 特別利益	114	60	54	653
VI 特別損失	96	8	87	359
税金等調整前四半期(当期) 純利益	240	209	31	137
法人税、住民税及び事業税	70	69	1	78
法人税等調整額	29	16	12	31
少数株主利益	45	38	6	12
四半期(当期)純利益	95	84	11	14

### 3. セグメント情報

#### 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期（自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日）

（単位：百万円）

	運輸業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
営業収益及び営業損益							
営業収益							
(1)外部顧客に対する営業収益	6,117	1,205	1,103	542	8,968	—	8,968
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	23	172	64	614	874	(874)	—
計	6,141	1,377	1,167	1,156	9,843	(874)	8,968
営業費	6,103	1,072	1,164	1,153	9,493	(885)	8,608
営業利益又は営業損失(△)	38	305	3	2	349	10	360

前第3四半期（自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日）

（単位：百万円）

	運輸業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
営業収益及び営業損益							
営業収益							
(1)外部顧客に対する営業収益	6,073	1,314	1,063	699	9,152	—	9,152
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	20	172	68	582	844	(844)	—
計	6,093	1,487	1,132	1,281	9,996	(844)	9,152
営業費	6,070	1,167	1,178	1,297	9,713	(845)	8,867
営業利益又は営業損失(△)	23	320	△45	△15	283	1	284

前連結会計年度（自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	運輸業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
営業収益及び営業損益							
営業収益							
(1)外部顧客に対する営業収益	7,822	1,784	1,341	950	11,899	—	11,899
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	29	239	78	939	1,287	(1,287)	—
計	7,852	2,024	1,419	1,890	13,187	(1,287)	11,899
営業費	8,084	1,592	1,557	1,907	13,142	(1,289)	11,853
営業利益又は営業損失(△)	△232	431	△137	△17	44	1	46

#### 4. 四半期財務情報の作成等に係る事項

(路線維持補助金にかかる会計処理の変更)

路線維持補助金について、従来確定時に特別利益に計上しておりましたが、当中間連結会計期間より、当期間にかかる当該補助金は営業収益に計上する方法に変更いたしました。これに伴い、過年度にかかる当該補助金は特別利益に計上しております。

この変更は、従来補助の対象を赤字事業者のみとしていた路線維持補助金制度が、平成13年4月から路線単位の経常収支に基づき交付される制度に変更されたことに加え、前期より取り組んでおります路線バス運行維持に関し、関係自治体と協定を締結することにより、期間毎の収益の確保がより確実になり、かつその金額の重要性も高まったことから、損益区分をより適正に表示するために行ったものであります。

この結果、従来と同一の方法によった場合と比較して、営業利益及び経常利益は112百万円増加するとともに税金等調整前四半期純利益は217百万円増加しております。